

# 高知県水道広域支援組織の検討について

## 資料一5

### 高知県水道ビジョンにおける位置付け

#### 〈実現方策名称〉

・「水道業務の受け皿となる支援組織の検討・活用(重要施策)」

#### 〈実施主体〉

・「高知県」(担当課:薬務衛生課)

#### 〈必要性〉

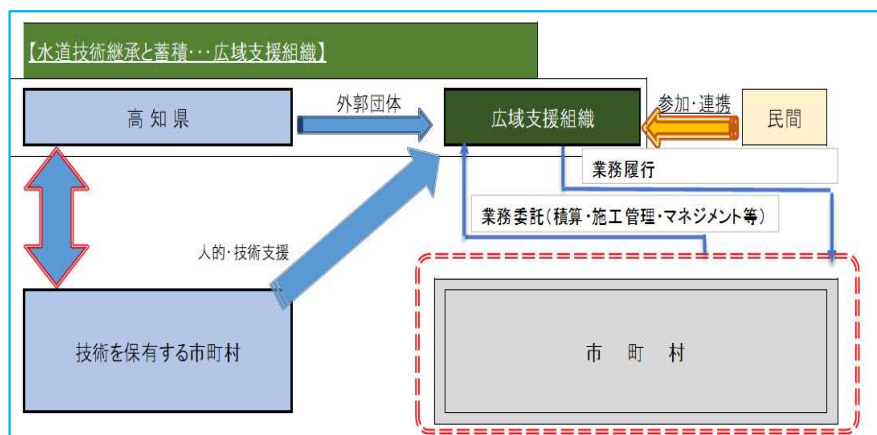
・多くの事業体において、水道の職員数が少なく日常業務の負荷が大きくなることや、今後熟練技術者が退職していくことから、適切な水道事業運営を行うために、業務の平準化、職員負荷の軽減などの対策を講じる必要がある。

#### 〈広域連携による取組〉

・広域支援組織などの広域的な受け皿組織の活用のための検討に協力する。  
・広域支援組織への水道業務等の委託を行う。

#### 〈高知県の役割〉

・広域支援組織の構築や水道業務等の拡張を検討する。



### 高知県水道広域支援組織勉強会の検討状況の概要

#### 〈勉強会の構成〉

目的:水道業務の受け皿となる支援組織の現実的な論点整理を行う。

事務局:高知県健康政策部薬務衛生課

構成員:県庁関係課、県内最大規模の事業体、県内平均規模の水道事業体、行政を補完する公益法人

#### 〈第2回勉強会〉

開催日:令和2年9月17日

主な検討内容:

- ①水道広域支援組織に係る市町村に対する調査方法等について
- ②高知県水道広域支援組織検討報告書(素案)について
- ③推進委員会資料における本取組の資料確認について

#### 〈第3回勉強会〉

実施日:令和2年11月18日～11月24日

主な調査内容:

- ①第1回高知県水道ビジョン推進委員会の議事録(水道広域支援組織抜粋)の報告について
- ②今後の方針(案)について

#### 〈第4回勉強会〉

開催日:令和3年3月15日～3月22日

主な検討内容:

- ①高知県水道広域支援組織の検討状況に係る国の意見について
- ②推進部会における市町村の意見について
- ③地元コンサルの満足度調査結果について
- ④水道広域支援組織への業務委託希望調査(案)について

#### 〈第5回勉強会〉

開催日:令和3年10月7日

主な検討内容:

- ①高知県水道広域支援組織検討報告書(素案)について
- ②県内統一歩掛(素案)について
- ③推進部会における市町村の意見について
- ④推進委員会資料における本取組の資料確認について

# 高知県水道広域支援組織勉強会のスケジュール

	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	
第2回高知県水道広域支援組織勉強会	■																					
第1回高知県水道ビジョン推進委員会		■																				
第3回高知県水道広域支援組織勉強会			■																			
第1回高知県水道ビジョン推進部会					■	■																
第4回高知県水道広域支援組織勉強会							■															
委託業務量調査										■												
第2回高知県水道ビジョン推進部会											■	■										
第5回高知県水道広域支援組織勉強会														■								
第2回高知県水道ビジョン推進部会														■								
第2回高知県水道ビジョン推進委員会															■							
第6回高知県水道広域支援組織勉強会																					■	
第1回高知県広域支援組織検討委員会																						■

## 高知県水道広域支援組織の形態について

(案) - 1

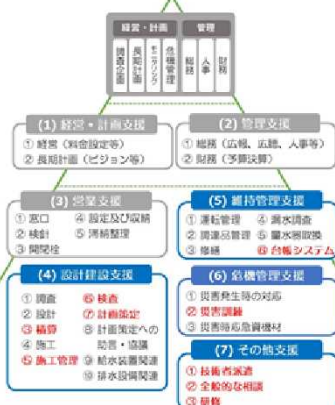
**【概要】**

県内事業者の高度な技術をもつ職員を既存組織に招集し、水道事業者の業務を受託する。

**【スキーム】**



**【対象業】**



**【メリット】**

既存組織が活用できる可能性がある。

**【デメリット】**

市町村の業務委託に対して、対象業務が限定的

**【類似形態】**

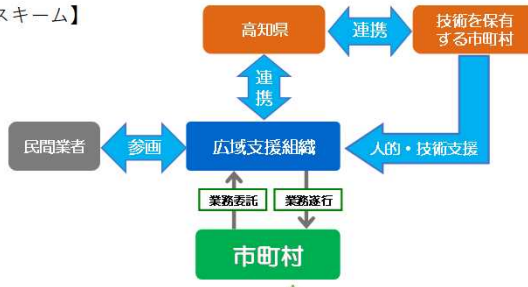
・兵庫県他多数

(案) - 2

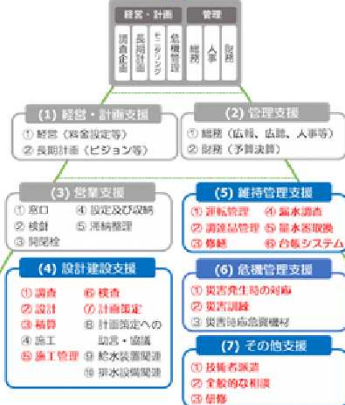
**【概要】**

県内事業者の高度な技術をもつ職員と民間で構成した組織を設置し、水道事業者の業務を受託する。対象業務は、水道事業者側がその都度、設定し、契約する。

**【スキーム】**



**【対象業務】**



**【メリット】**

水道事業者側に、選択肢が多くなる。

**【デメリット】**

組織の運営に係る負担大、  
組織の組成や事業運営の負担大。

**【類似形態】**

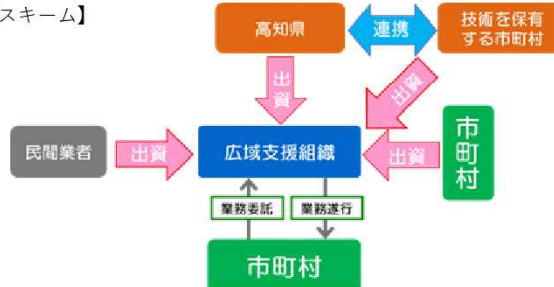
・北九州ウォーターサービス 等

(案) - 3

**【概要】**

県内事業者の高度な技術をもつ職員と民間で構成した組織を設置し、水道事業者の業務を受託する。対象業務は、組織側が設定し、事業者のニーズがあった場合に、契約する。

**【スキーム】**



**【対象業務】**



**【メリット】**

経営上のメリットが高いと思われる。

**【デメリット】**

組織がなくなった場合のリスクが高い。

**【類似形態】**

・荒尾SPC、水みらい広島  
・中津川市JV (⇒官側からの出資は無し)

## アンケートとりまとめ

回答数：32/34

### 1 組織必要の有無

①	必要	28
②	不要	4

### 2 案1から案3のどの組織がよいか。

①	案1	16 / 28	57%	・案1で組織を作り、その後、各市町村のニーズに合わせてメニューを増やしていき、徐々に案2に近づけて行ければいい。
②	案2	8 / 28	29%	
③	案3	4 / 28	14%	
④	その他	2 / 28	7%	

(①④、②④の回答あり)

### 3 負担額の可否

①	全て	6 / 28	21%	・軽費削減分については負担できる。 ・民間企業に委託する額と同等以下。 ・イメージがわからない。
②	任意	3 / 28	11%	
③	不可	1 / 28	4%	
④	その他	19 / 28	68%	

(①④の回答あり)

### 4 職員派遣の可否

①	全て	2 / 28	7%	・1人派遣が、3市町。 ・人が減る分委託業務でカバーできるなら。 ・組織に常勤ではなく、役場の仕事と兼務できないか。
②	任意	3 / 28	11%	
③	不可	15 / 28	54%	
④	その他	8 / 28	29%	

### 5 ご意見

・トラブルや災害などの緊急時に相談や支援をしてもらえると小さな自治体は助かる。

・災害時対応を考えると職員数削減はできないので、メリットが限定的だ。

・まずは実現化であると思われる方策から実施するのが望ましい。

・組織は必要だが、組織に丸投げは良くないと思う。技術的な相談や訓練の支援をするようにしてはどうか。

・組織で技術を学び、ノウハウを持ち帰り町に貢献できる人材育成をお願いしたい。

・技術支援をしてもらえる仕組みがあれば良い。負担が発生する組織設置は考えていない。

・飲料水供給施設も対象にして欲しい。

・本市は県内最大規模の水道事業体で、専門的な職員や知見を有していることから、県内水道事業体をリードする中心的な役割を担っていると考えている。また、中小の水道事業体が将来にわたって事業を継続していくためには、広域化を推進していくことが有効な手段の一つであると認識している。しかしながら、水道事業の独立採算制の観点や本市の事業進捗への影響などから、費用負担や職員派遣は現状として困難であるが、例えば、広域支援組織の職員を当局で受け入れ、研修を行うなど、当局から派遣する方法以外にも、今後の広域連携の関わり方について丁寧な議論を重ねていただきたい。